

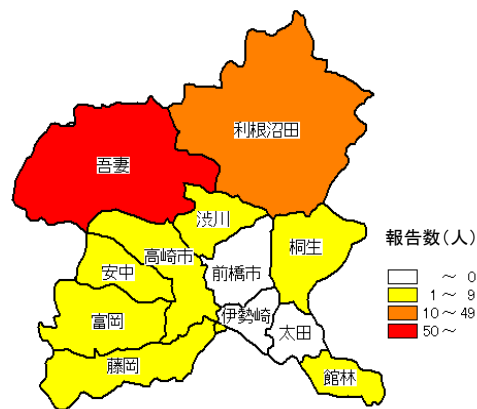
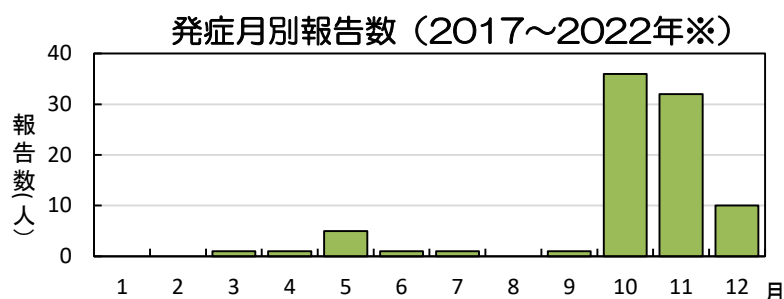
つつが虫病に注意しましょう!

◆ 発生状況

- 群馬県では、毎年10～20例程度の発生報告があります。
- 例年、10月～11月にかけて多く発生しています。
- 吾妻地域、利根沼田地域で特に多く、隣接する地域でも発生がみられます。

年	2017	2018	2019	2020	2021	2022 ※
報告数	10	22	22	12	14	8

※2022年は第45週までの累計



推定感染地域別報告数
(2017-2022年※)

◆ どんな病気?

- つつが虫病リケッチアを持ったツツガムシの幼虫に刺されることで感染します。
- 潜伏期は5～14日、主な症状は発熱・発しんで、重症になると肺炎や脳炎症状をおこします。治療が遅れると致死率が高くなるといわれています。
- 5～10mm大のかさぶたを伴う刺し口が特徴で、刺し口は足や胸部、腹部などに多くみられます。



刺し口の例：国立感染研HPから

◆ 予防方法

農作業・森林作業など野外で作業する時は、ツツガムシに刺されないように注意しましょう。

- 長袖・長ズボン、帽子や手袋等を着用し、首にタオルを巻く等、肌を露出しない。
- シャツの袖口は手袋の中に、裾はズボンの中に入れる。
- ズボンの裾は靴下の中に入れる。
- 草の上に腰をおろしたり、寝転んだりしない。
- 作業中に脱いだ上着やタオルなどを草の上に直接置かない。
(衣類にツツガムシが付着する可能性があります。)
- 防虫スプレーを使用する。
- 野外で作業した後は、入浴して着替えをする。



◆ 症状が出たら

- 早期治療が大切です。山林・田畑・川原などに立ち入ってから1～2週間後に、発熱や発しんなどの症状が現れた場合には、速やかに医療機関を受診しましょう。
- その際、これらの場所に立ち入ったことを医師に申し出ましょう。